

中間子論による弱相互作用の研究會について

No 1 4/9/64

次のように研究會開催を予定致してあります。御出席を御願ひ申し上げます。京都以外の地よりお越しの方へは、基研より旅費が出ます。同封葉書にて御出席の有無、宿舎などにつきを急お知し下さいませ。御願ひ申し上げます。

場所 基研

日時 5月13日(木) 14日(金)の2日間。 5月13日 10:30amより。

- テーマ
1. 谷川 中間子
 2. W-中間子
 3. Non-leptonic Decay と 中間子論
 4. High Energy Neutrino Reaction に対する中間子論の寄与

Weinberg

以上の研究會は、春の研究部員會で 'Intermediate Boson Theories' として承認され、研究會の正式の名前であるとして附記致し奉り

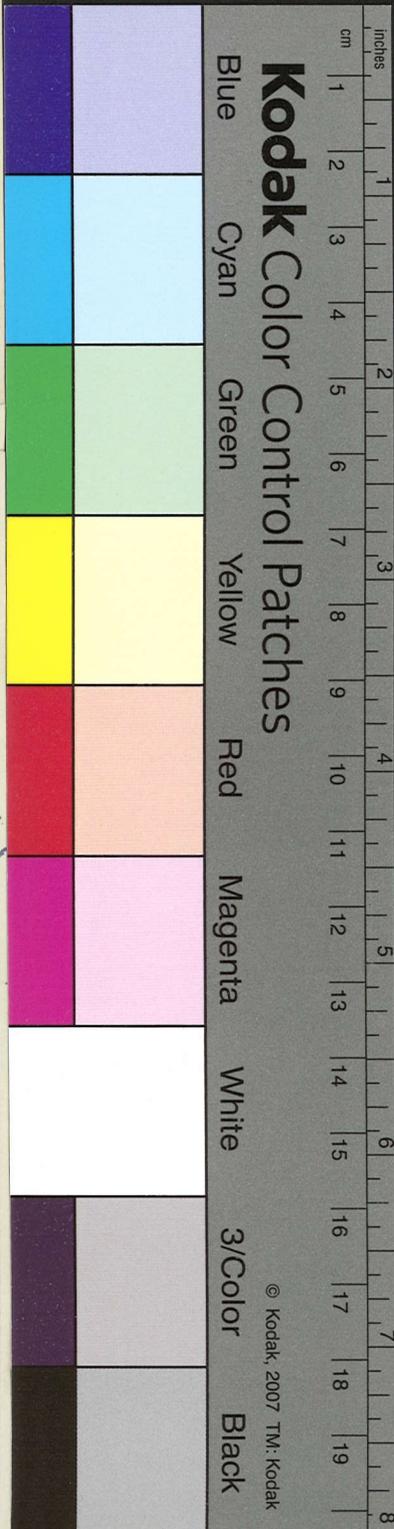
以上簡單にご説明申し上げますが、急ぎで御座いますので、御座います。

- ③ W^+ と W^- の質量の差は、 W^+ の質量の差に反比例する。
- ① W^+ と W^- の質量の差は、 W^+ の質量の差に反比例する。
- 研究会代表者 中村誠太郎 谷川安孝

$\sigma_1, \sigma_2, \sigma_3, \tau_3 \in \mathbb{Z}$

$\{\sigma_1, \tau_1, \sigma_3, \tau_3\} = 0$ 連絡先 京大基研 森田正人

- ② discreteness principle \leftrightarrow continuous
 finiteness principle \leftrightarrow infinite
- 中間子論と外場理論との対応
 中間子論の量子化 \rightarrow 外場理論の
 理論の量子化 \rightarrow 中間子論



G. Wentzel, Zeits. f. Phys., 104 (1937),
34; 105 (1937), 738.

